

2019 SEASON REPORT



SUPER GT 300 CLASS KONDO RACING TEAM #56

新規チームとして、参戦する事となった今シーズン。自身はSuper GT300クラスに5年間戦ってきた経験があるので、その経験を出来る限りチームに貢献するように取り組んできました。とはいえ、チーム自体も500クラスそしてSuper Formulaなど、様々なトップカテゴリーで戦っている経験があるので、私個人的には非常に心強かったです。

開幕戦前にはいくつかのテスト走行を行い、主に車のセットアップとタイヤ開発に専念。チームそしてヨコハマタイヤと良い車作りが出来たことで開幕戦前の我々の速さ新規チームとは思えない程好調でした。

開幕戦は非常に強い雨。沢山の車両がアクシデントに見舞われましたが、我々#56は、まず生き残る事を優先しました。レース終了後には5位でフィニッシュし、いきなりポイントを獲得する事が出来ました。続いて第2戦富士では、なんと予選でPPを獲得。自身2度目となるPPとなりました。決勝は予想外の気温変化に苦戦し惜しくも表彰台を逃しました。第3戦の鈴鹿は全く良い思い出がありません。この時は、ライバル勢と戦えるだけのスピードが我々にはありませんでした。第4戦のタイ。ここでは2位表彰台を獲得。優勝は目前だったのですが、チーム#56初となる表彰台を獲得出来ました。第5戦の富士。シーズンで一番長い距離を走る500mile(800km)レース。ここでもきっちり走り切り、貴重なポイントを獲得。第6戦オートポリスは、かなり天候が荒れたレース。雨が降ったりやんだりの荒れたレースでしたが、何とかポイントを獲得。第7戦SUGO。ハンデウェイトも半分(35kg)となり車の動きもシャープになりました。予選は予想以上の成果で4番手。決勝は最終ラップまでライバル勢と良いバトルを繰り広げる中、5位でフィニッシュ。第8戦茂木に向けて、シリーズタイトルに首の皮1枚で権利をキープすることが出来ました。

迎えた最終戦モテギは、予選でPPを獲らないとその時点でシリーズチャンピオンの権利を失うという状況でした。何度もチームそしてヨコハマタイヤとミーティングを重ねて準備を進めてきたのですが、予選は非常に悔しい2番手。しかも、ポールから0.1秒とあとほんの少しの差でした。予選の後にはチームと、応援して頂いている全ての方の為にも、最後まで全力で走り切るとチームと誓い決勝に向けて準備を進めました。そして、決勝レースでは、数周でトップをオーバーテイクしレースをリード。2番手に4秒程差をつけて相方のSacha選手に交代。何事もなければ、表彰台は楽に獲得出来る状況だったのですが、まさかのトラブルに見舞われマシンがストップ。再発進するも優勝争いから脱落し6位でフィニッシュする事となりました。

Rd 1	Okayama International Circuit	QF 8th	Race 5th
Rd 2	Fuji Speedway	QF 1st	Race 4th
Rd 3	Suzuka Circuit	QF 21st	Race 18th
Rd 4	Chang International	QF 2nd	Race 2nd
Rd 5	Fuji Speedway	QF 2nd	Race 7th
Rd 6	Autopolis	QF 6th	Race 8th
Rd 7	Sportsland SUGO	QF 9th	Race 5th
Rd 8	TwinRing Motegi	QF 4th	Race 6th

今年も沢山の応援に感謝！！！！

今シーズンも沢山の応援を有難う御座いました！

今年から本格的にNismo契約ドライバーとして、レース活動をする事になり、とてもプレッシャーを感じる一年ではありましたが、内田さんから頂くメッセージが僕にとって非常に心強い助けになりました。本当に有難う御座います。

ここ数年では、沢山の皆さんに支えて頂き、それが僕の活力になっています。感謝の気持ちと初心を忘れず、ドライバーとしても一人の男としても、もっと成長していけるように全力で取り組んでいきます。来シーズンは、自分自身だけでなく、内田さんの挑戦にも僕が今年速さを磨いてきた知識や経験を出せる限りお伝えし、お力添えさせて頂ければと思っています。また、シミュレーターで追い込んでいきましょう！！！！

改めまして、今シーズンもご支援に感謝です。誠に有難う御座いました！